

平成 23 年度研究助成金交付先一覧表

◆ (1 件 50 万円×20 件= 計 1,000 万円)

助成	所属(申請時)	研究者	研究テーマ
4 年目	北海道大学大学院薬学研究院	南 雅文	慢性的疼痛による情動障害と食欲抑制のメカニズム
4 年目	大阪大学大学院医学系研究科 乳腺内分泌外科	野口 眞三郎	乳がん個別化治療実現を目指した遺伝子発現プロファイル解析および細胞周期プロファイル解析に基づく予後および化学療法感受性診断法の開発
4 年目	大阪大学蛋白質研究所	川上 徹	新規ペプチドライゲーション法の開発とそれを用いる部位特異的修飾蛋白質の合成
4 年目	大阪大学大学院薬学研究科	藤岡 弘道	活性カチオン種の生成とその高次利用
4 年目	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 神経情報医学部門病態情報医学講座情報伝達薬理学分野	玉置 俊晃	循環器障害克服のための酸化ストレス研究
3 年目	関西学院大学理工学部	今岡 進	ポリフェノール類の薬効と毒性についての研究
3 年目	大阪大学大学院薬学研究科	荒井 雅吉	病態の体内微小環境で作用する活性天然物の創成と迅速標的分子解析法の確立
3 年目	熊本大学大学院 医学薬学研究部	石塚 忠男	ジアミン新合成法開発を基軸とした医薬品候補物質効率合成法への展開
3 年目	東京大学医学部附属病院 糖尿病・代謝内科	大杉 満	膵β細胞を中心とした糖尿病発症原因の解明とその治療の多角的な研究
3 年目	静岡県立大学食品栄養科学部	合田 敏尚	消化管における糖シグナル伝達を介した糖吸収の制御と末梢白血球および内臓脂肪組織の遺伝子発現プロファイルとの関連
2 年目	東京理科大学理学部 第一部化学科	斎藤 慎一	新規 7 員環構築反応の開発とその応用
2 年目	名古屋市立大学大学院 薬学研究科	鈴木 孝禎	触媒メカニズムに基づいたヒストン脱メチル化酵素阻害薬の創製
2 年目	大阪医科大学 薬理学教室	金 徳男	人工血管内腔狭窄機序の解明とキマーゼ阻害薬による狭窄予防
2 年目	名古屋市立大学大学院 薬学研究科	平嶋 尚英	マスト細胞からのヒスタミン放出機構の解明
2 年目	北海道大学大学院 先端生命科学研究院	門出 健次	赤外円二色性スペクトルによる分子キラル分析法の開発
新規	慶應義塾大学薬学部 薬理学講座	三澤 日出巳	加齢性記憶障害でのシナプス機能を改善する新規認知症治療薬の開発
新規	大阪大学・産業科学研究所	笹井 宏明	新規概念に基づくエナンチオ選択的触媒反応の創出と応用
新規	静岡県立大学薬学部	赤井 周司	ベンザイン反応を基軸とする生物活性芳香族化合物の革新的合成
新規	金沢大学 医薬保健研究域薬学系	玉井 郁巳	トランスポーターを基盤とする創薬と最適薬物療法に関する研究
新規	昭和薬科大学薬学部	田村 修	新規含窒素 1,3-双極子の開発と応用研究

◆ 特別研究助成 (1 件 250 万円×2 件 = 計 500 万円)

助成	所属	研究者名	研究テーマ
2 年目	京都大学大学院 医学研究科 内分泌代謝内科	桑原 宏一郎	心不全の分子病態解明に基づく新規治療標的の同定
新規	大阪大学薬学研究科 薬品製造化学分野	好光 健彦	Wnt/β-Catenin シグナル制御分子をシードとする抗がん剤創製

以上